

# 後援会だより

「子どもの母校は我が母校」  
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

## 「支部長懇談会、支部長会議」報告



2018年度後援会総務  
渡辺康太（啓仁/理工学部）

市ヶ谷キャンパスのポアソナード・タワー26階スカイホールにて、6月1日（金）に支部長懇談会、翌2日（土）に支部長会議が開催されました。

支部長懇談会では、中和后援会会長ならびに佐々木郁夫校友会副会長のあいさつに引き続き、前任の小須田博司卒業生・後援会連携室長から引き続き難いだ松丸伊三雄同室長のあいさつがありました。さらに、事務局の紹介と、HSC（法政スポーツコミュニティ）の現状についての説明がありました。

周年事業を実施する各支部（本年度は5支部）からの進捗状況は本会後の懇親会での報告へと変更になり、本年度は自然災害など発生時の対応方法について見識を深めるため、東日本大震災発生時に後援会の役員をしてい池邊澄元会長と今村浩元会長より、当時の後援会としての対応状況を説明していただきました。



本年も引き続き、各支部委員の皆さまと親睦を図り、学生ファーストの後援会活動へつなげられるよう、一層努めてまいります。会員の皆さまのご理解ならびにご協力をお願いいたします。

## 「法政大学後援会総会」報告



2018年度後援会顧問  
今泉拓

2018年度法政大学後援会総会は、6月2日（土）に市ヶ谷キャンパスの薩埵ホールにて開催されました。当日は来賓として桑野秀光校友会会長、濱清隆後援会クラブ会長にご臨席いただいたほか、全国36支部の支部長および支部役員、中和后援会会長の開会あいさつ、来賓の皆さまのあいさつに続き、議事に入りました。

2017年度の事業報告および決算報告では、70周年記念事業の実施、多摩キャンパス内循環用大型バス寄贈、支部および首都圏役員による各種スポーツ応援活動などの報告を行いました。2018年度の事業計画案/予算案では、継続した後援会活動の

実施に加えたホームページの改修予定などの説明を行いました。その他2018年度役員選出と併わせて、全ての議事は参加者一同による可決・承認をいただきました。

クライマックスは、恒例の「釋（たすき）の引き継ぎ式」です。法政大学後援会の71年の伝統の禪が、2017年度の任期を終えた中会長より、2018年度新たに着任する小澤徳会長に引き継がれると、ホール内からは大きな拍手と喝采が湧き起こりました。

法政大学後援会は、これからも学生に寄り添った活動を行って参りますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



## 2018年度 後援会役員

会長	小澤徳	副会長	榑石賢一	向井知子
総務	志田ひろみ	石橋久美子	魚躬有理	福尾美貴子
常任幹事	渡辺康太	小林淳	清水伸行	山口秀一
4年	佐藤利美	富田二三男	坂内ひろみ	藤田千明
3年	山本栄	山本栄	内堀文明	小林敬二
2年	石塚知子	松本悟	朝倉賢司	磯崎恵美子
1年	青柳彩子	石井栄子	梅村和代	坂井亨子
幹事	霜田憲子	高田友江	高野早苗	清水律子
3年	永野守	本多邦恵	三澤潤子	高野律子
2年	赤井亮太	岸美加子	佐々木みどり	下石川早苗
1年	村上博文	山田恵子	遠藤澄江	金子裕子
2年	相川毅	伊勢和房	永野櫻子	新美優子
1年	田口奈保子	中村健太郎	松下功一	吉田勇二
2年	平塚則吉	廣島映一	石川英一	大笹勝典
1年	相澤さえ子	石井亘	小林敏和	小宮美知代
2年	岡島健	春日井恵	諏訪部真理	友利方彦
1年	島田昌彦	清水由美	原岡麗子	宮原富士雄
2年	西山広二郎	林明裕	宮本幸枝	西尾純子
1年	横山久美子	我妻麻子	大高理香	佐々木千恵
2年	森田恵子	平山智子	古賀ゆかり	野口祐二



2018年度 法政大学後援会 運営委員  
写真前列左から 志田ひろみ総務、榑石賢二副会長、小澤徳会長、向井知子副会長、榑原副会長  
後列左から 小林淳総務、清水伸行総務、魚躬有理総務、石橋久美子総務、福尾美貴子総務、渡辺康太総務、山口秀一総務

### 2018年度首都圏父母懇談会のご案内

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の1～3年生のご父母の皆さまへは9月上旬に案内状を発送する予定です。4年生の父母・保証人の皆さまや1都3県以外の父母・保証人の皆さまもご参加いただけます。詳しくは9月上旬に更新予定の後援会ウェブサイト (<https://www.hosei-koenkai.org/>) をご覧ください。

- 市ヶ谷キャンパス 10月7日(日) 法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS（グローバル教養学部）の父母・保証人対象
- 多摩キャンパス 10月20日(土) 経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の父母・保証人対象
- 小金井キャンパス 10月14日(日) 情報科学部、理工学部、生命科学部の父母・保証人対象

※( )内は子どもの名前/学部  
本文の役職名は2018年6月当時のものです。

## 2018年度 主な事業

2018年度(2018年4月～2019年3月)の主な事業は以下のとおりです。

事業項目	主な事業	
1.父母懇談会	支部	・支部総会・父母懇談会を36支部で開催[7月7日(土)～8月26日(日)]
	首都圏	・東京・神奈川・千葉・埼玉の父母を対象に3キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス[10月7日(日)] ・多摩キャンパス[10月20日(土)] ・小金井キャンパス[10月14日(日)]
2.新入生父母の集い	支部	・各支部で実施[5月～6月]
	首都圏	・大学主催による「新入生父母説明会6月10日(日)」への協力
3.支部における諸活動	・キャンパス見学(スポーツ応援)の実施 ・支部による学生課外活動の支援 ・支部活動の活性化に向けた議論 ・校友会との連携強化 ・支部長会議への参加	
4.学生・大学への助成	・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、 広報誌「HOSEI」、全学生に配布する学生手帳作製、就職活動手帳作製、その他の助成を実施 ・大学の歴史を体系化する取り組みへの支援	
5.広報活動	・広報誌「HOSEI」掲載の「後援会だより」、後援会ウェブサイトの活用 ・「会員のための大学ガイドブック」の作製 ・スポーツや文化活動の情報発信	
6.大学、校友会との連携強化	・後援会運営委員と総長・学内理事、学部長・常任参与、校友会との懇談会の実施 ・校友会との共同企画を実施	
7.学生(課外)活動支援	・東京六大学野球、ラグビー、アメリカンフットボール、東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などの応援 ・文化系学生の各種発表会などへの支援	
8.組織の充実	・新入生保護者への後援会活動の情報発信 ・支部役員と本部役員との交流 ・本部3キャンパス役員との交流 ・会員であることの意識向上についての取り組み	
9.その他の具現化	・対外組織との連携	

## 2018年度 収支予算書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

【収入の部】		(単位:円)
科目(款)	2018年度予算額	
1.一般収入	237,967,000	
2.雑収入	1,553,000	
3.積立金・引当資産からの繰入	25,000,000	
4.預り金収入	92,000	
当年度収入合計(A)	264,612,000	
前年度繰越金	53,187,000	
収入合計(B)	317,799,000	

【支出の部】		(単位:円)
科目(款)	2018年度予算額	
1.自然災害等被災学生のための学生支援費	20,000,000	
2.学生支援費	97,472,000	
3.会員情報費	31,049,000	
4.会員行事費	45,376,000	
5.役員活動費	12,466,000	
6.企画運営費	25,886,000	
7.人件費	11,864,000	
8.学生支援積立金	30,000,000	
9.後援会積立金	0	
10.引当資産	1,000,000	
11.未払金支払	33,000	
12.前払金	0	
13.予備費	5,000,000	
14.期末未払金	0	
15.前期末前払金支払	0	
16.預り金支払	0	
当年度支出合計(C)	280,146,000	
当年度収支差額(A)-(C)	△15,534,000	
次年度繰越金(B)-(C)	37,653,000	
支出合計(D)	317,799,000	

### ■ 後援会ウェブサイトのご案内

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジ色のインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。

<https://www.hosei-koenkai.org/>



後援会総務  
福尾 美貴子 (貴紀 / 法学部)

## 首都圏新入生父母説明会報告

6月10日(日)市ヶ谷キャンパスにおいて、2018年度「首都圏新入生父母説明会」が開催され、はつきりしない空模様にもかかわらず、多くの新入生の保護者の皆さまが参加されました。

本年度は薩埵ホールでの講演会の他に、学生ガイドによるキャンパスツアーや富士見ゲート3階の「つどひ」にて学生食堂体験も行われ、希望者の列ができていました。



講演会は、まず増田正人常務理事から市ヶ谷キャンパスの55・58年館建て替え工事、授業時間の変更、多摩キャンパスのバスの学期定期導入など、学生生活向上に向けた取り組みについての説明があり、「本日は大学の雰囲気を楽しんでほしい」との言葉をいただきました。

続いて大学院イノベーション・マネジメント研究科教授で、本学のキャリア教育運営委員を務める藤村博之教授から「大学の学びが働く力を高める」と題した講演がありました。考え続ける持久力、論理的思考など、まさに頭の体幹の基礎をつくる大学教育の大切さや、本学独自のキャリア教育の取り組みについて、具体的な研究データを基に分かりやすくお話しいただきました。後援会ウェブサイト当日の資料が掲載されています。当日ご出席いただけなかった皆さまも、ぜひご覧下さい。

卒業生、後援会連携室の大山賢一課長からは、「充実した大学生活を送るために」と題して、①大学の学習の仕組み、②就職活動の実績と支援、③大学生活の過ごし方という三つのお話を伺いました。これからの大学生活や就職活動に不安を感じておられる新入生の保護者の方々は、大変参考になるお話だったと感じました。

最後は、後援会の榎原副会長から、後援会活動の紹介として秋に行われる首都圏父母懇談会のお知らせやHSC(法政スポーツコミュニティ)が主催するスポーツ応援へのお誘いの話があり、閉会となりました。



北海道支部長  
矢田 龍介

## 北海道支部 新入生父母の集い開催報告

5月27日(日)、ホテルライフオービット札幌にて北海道支部の新入生父母の集いを開催しました。

当日は26世帯35人の新入生父母と、後援会役員26人、大学から立石誠学務部長、校友会からおいでいただいた齋藤章彦氏を含めて、合計63人の参加がありました。本年度の北海道出身の新入生が105名ですので、およそ1/4の参加です。多くの参加者は札幌を中心にした地域からでしたが、函館(JR特急利用で3時間30分)や帯広(JR特急利用で2時間40分)から参加された保護者の方もあり、新入生父母の集いへの期待の大きさが感じられました。



子どもを北海道から東京の法政大学に送り出したという、同じ境遇の親同士が集まったため、キャンパス別の円卓に分かれた各

### 《当日プログラム》

- 1 開会あいさつ
- 2 支部長あいさつ
- 3 後援会紹介DVD
- 4 大学職員からの説明
- 5 質疑応答
- 6 支部活動紹介
- 7 昼食・懇親会
- 8 学生からのビデオメッセージ
- 9 校友会との連携
- 10 支部総会・父母懇談会、キャンパス見学会の案内
- 11 閉会あいさつ

テーブルでは、開会前から子どもが盛り上がっていました。参加者の皆さまは、大学や後援会、校友会からのさまざまな情報について熱心に聞き入っていました。大学職員である立石次長からの丁寧な説明には、アンケートの中で感謝の言葉がたくさん集まり、「マンモス大学でありながら、父母に対してこれだけ丁寧に対応くださったことに驚いている」との感想もありました。

昼食を兼ねた懇親会は、予定時間があつという間に過ぎ、親同士のネットワークができた様子でした。今後の後援会行事にも引き続き参加してもらえないかと、期待が持てました。